

『さすがに子供が何人もいるお母さん、このようにケツ肉がふっくらしているデカ尻見ているだけでチンポは興奮し』

『どうですか？重いですか？』



『おお！ケツ肉が私のチンポを摩擦し！』

「お尻が大きいということは、子供たちに冗談を言わ
ることが多い、ちょっと恥ずかしい、だから、あなた
が私のテカ尻を好きになってくれて嬉しいです」



「今度は……メロンがあなたの上に乗って……そう
、じつしてくれてれば大丈夫だから。メロンママ
が、たあっぷりとテカチンポを発情マンコでじゅぶ
じゅぶしてあげる」

「これ、これ、これよおおお〜〜デカチンボ、デカチンボまた奥まで来てるううう」

『テカ尻の肉上下が波打っている、このような
シーンは衝撃だ』

「あつ、あつ、ああつ、じゅっぽじゅっぽ、じゅっぽじゅ
っぽ、オマンコいいつ、オマンコ気持ちいいのお」



「ね、私のお尻ぶつて、先ほどあなたがサイトウち
やのお尻を叩いたように、私のデカ尻ばんばんと
叩かれたい」



『あひいいいつん!』



『呴いただけで反応が大きい、おまんこ中は私の
チンポをしっかりと吸い……まさかさつきはもう
いくか』

『い……いいえ、でも、感じが強すぎます、
もう少しで我慢できないところだつた』

『じゃ、お尻は止めないで、あなたの「デカ尻踊
り」で私を誘惑する下品なダンスを続けます』

『ああ！は……はい！』



「どうですか、メロンママの淫亂お尻ダ
ンス、好きですか？」



『とても下品で、とても気持ちいいです、だ

から、これは私のご褒美』

「あ……ありがとうございます、もっとお尻
を叩いてください、お尻うんと強く！ああ
ああ！」



「チンボ、チンボ、チンボ おおおん！ 叩かれながらも
つとズボズボしてえ！ 子宮口の奥までガンガン突き刺
してえええ！ デカチンボ突かれて、お尻叩かれながら
イッちゃううううん！！」



『あぐう！ひぐう！んつ！んうつ！んお！んお
！んほああああ！イクッ！イツグ！チンポア
クメ来ちゃうっ！！』

「あひいっあっあーあはあああん…あ
、出てるう…」



「うふふ……どうやら、満足出来たみたいですね。メロンママも、あなたのオチンポで、い〜〜ぱい気持ちよくなっちゃいましたあ。どうですか？まだ続けますか？」